ともに芦

～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第12号　令和8年　9月15日（火）
文責　：　副校長　　深川　治孝

5年生「田んぼダムについて知ろう」

9月3日（木）、5年生の総合の時間に「田んぼダムについて知ろう」という出前授業が行われました。この授業には、佐賀県農地・水多面的機能推進協議会様と小城市農村整備課管理係の方々が数多く来られ、田んぼダムを用いた『流域治水』のお話、実験をしていただいたり、田んぼの水を堰き止めるための堰（せき）板に触れさせていただいたりしました。

初めに、小城市のキャラクター「こい姫」さんに流域治水の話をしていただき、その後、県の方に田んぼダムの説明をしていただきました。子供たちは、知っているようで知らなかった田んぼの働き、かかわる人々の努力について学習し、その後の田んぼダムの実験で堰板の働きを目の当たりにしたとき、「おー！」「すごい！」と大きな歓声が上がっていました。

SDGsにも関連があるというお話もあり、今後の学習だけでなく生活にも生かしていけたらと思います。お家でも、環境や田んぼなどのことについてお子さんと話をされてください。





小学部人権教室

9月10日（木）、小学部の人権教室が行われました。今回のテーマは、「偏見、差別について」。上学年は、『いのちをいただく』～みいちゃんがお肉になる日（作：内田美智子）。下学年は、『じぶんだけのいろ』（作：レオ・レオニ）の絵本も紹介されました。周りには、いろいろな人がいる。いろいろな職業がある。周り（の人）は、自分とは違う。違うのが当たり前だし、違っていていい。それぞれ、担当の先生からのお話があり、その後、各学級で、テーマについて真剣に考えていました。決めつけや思い込みをしません。差をつけた区別をしません。いじめや無視をしません。各学年の実態に応じて、様々な振り返りが出されました。ぜひ、今回の教室の話をお家でされてください。




7年生面浮立体験

9月14日（月）、7年生があしぱる多目的ホールで面浮立体験を行いました。あしかり未来づくり協議会様が、未来の芦刈を担う子供たち（7年生）に芦刈の歴史、伝統芸能を学び体験してもらうことで伝統芸能に関心をもち、将来の担い手となってほしいという想いのもとに実施されました。

今回、協議会の方々と共に小路地区面浮立保存会の方々が来られ、素晴らしい伝統芸能である面浮立を披露していただき、教えていただきました。

お話の後に模範演技をしていただきました。模範演技の際には、あしかりこども園の園児たちも来ていました。笛のなめらかな音、太鼓の軽快な音、鉦の響く音に合わせて面浮立を演技され、子供たちはその歴史ある伝統にふれ、真剣に見つめていました。休憩をはさみ、7年生の子供たちは笛、太鼓、鉦、踊りの4つのパートに分かれ、それぞれ練習した後、地域の方々と共に演技しました。保存会様の思いと子供たちの思いや気持ちが重なり、とても素晴らしい「あしかり」の未来を見ることができました。









第42回全国小学生陸上競技交流大会佐賀大会

9月6日（日）、標記の大会が開催され、下記の6年生2名が見事優勝し、11月22日（土）に東京で行われます全国大会にこまを進めました。おめでとうございます。

女子6年100m走
優勝　古賀　りらん

女子ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞA
（80mH－走り高跳び）
優勝　竹下　咲未





第13回九州ブロック親善ドッジボール大会

8月2日（日）、標記の大会が開催され、下記の2名が所属するチーム「三日月ブラックドラゴン」が準優勝しました。おめでとうございます。

三日月ブラックドラゴン
準優勝
5年　福島　輝柾
3年　福島　雫



